

NEWS RELEASE

2018年8月7日
株式会社三菱総合研究所

2018年4-6月期 GDP 1次速報予測

株式会社三菱総合研究所(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:森崎孝)は、内閣府より8月10日(金)に公表予定の2018年4-6月期のGDP速報(1次QE)について予測を行いました。

2018年4-6月期の実質GDPは、季節調整済前期比+0.2%(年率+1.0%)と予測します。消費や設備投資を中心に内需が底堅く推移していることから、2四半期ぶりのプラス成長を予想します。

消費は、1-3月期に消費を押し下げた生鮮食品の価格上昇などの影響が和らいだほか、株価や消費者マインドも持ち直していることから、前期比+0.3%と増加を予測する。設備投資は、生産能力増強や自動化・省力化に対するニーズの高まりなどを背景に、同+0.8%と7四半期連続の増加を予想する。

輸出は、17年下期の高い伸びの反動や、半導体関連財が力強さを欠くことから、同+0.1%と小幅の増加にとどまると予測する。一方、輸入は同▲0.4%と3四半期ぶりの減少を予想する。結果として、外需の寄与度は+0.1%pと小幅ながらプラスを見込む。

表 2018年4-6月期 GDP速報 予測結果

単位：断りが無い限り 季調済前期比(%)		2017年		2018年	
		7-9月期 実績	10-12月期 実績	1-3月期 実績	4-6月期 予測
実質GDP		0.5	0.3	▲ 0.2	0.2
	季調済前期比年率	(2.0)	(1.0)	(▲0.6)	(1.0)
民間最終消費		▲ 0.7	0.3	▲ 0.1	0.3
民間住宅投資		▲ 1.6	▲ 2.7	▲ 1.8	▲ 1.1
民間企業設備投資		1.0	0.7	0.3	0.8
民間在庫	寄与度	0.4	0.2	▲ 0.2	▲ 0.1
政府最終消費		0.1	0.1	0.1	0.2
公的固定資本形成		▲ 2.6	▲ 0.4	▲ 0.1	0.1
財・サービス 輸出		2.0	2.2	0.6	0.1
財・サービス 輸入		▲ 1.3	3.1	0.3	▲ 0.4
内需	寄与度	0.0	0.4	▲ 0.2	0.2
民需	寄与度	0.1	0.4	▲ 0.2	0.1
公需	寄与度	▲ 0.1	0.0	0.0	0.0
外需	寄与度	0.5	▲ 0.1	0.1	0.1
名目GDP		0.8	0.2	▲ 0.4	0.3
	季調済前期比年率	(3.0)	(0.9)	(▲1.6)	(1.2)
GDP デフレーター	前年同期比	0.1	0.1	0.5	▲ 0.1
国内需要 デフレーター	前年同期比	0.5	0.6	0.9	0.5

注：表中の実績値は、2018年1-3月期2次QEに基づく。シャド一部分が今回の予測値。
出所：実績は内閣府「国民経済計算」、予測は三菱総合研究所

本件に関するお問い合わせ先

株式会社三菱総合研究所 (<http://www.mri.co.jp/>)
〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目 10 番 3 号

【内容に関するお問い合わせ】

政策・経済研究センター 森重彰浩 田中康就
電話:03-6705-6087 メール:morisige@mri.co.jp

【取材に関するお問い合わせ】

広報部 吉澤、瀬戸口、渋谷、角田
電話:03-6705-6000 メール:media@mri.co.jp

本資料は、内閣府記者クラブおよび当社にてお付き合いのある記者の方々にもご案内しております。